

● 「なごやモノづくりカレッジ」によせて



(財)名古屋市工業技術振興協会

会長 松尾 隆徳

1. モノづくりの勝利

今回の景気回復は地道な「モノづくり」の勝利であり、民間企業の汗と智慧の結晶である。とりわけ名古屋を中心とする東海・中部地域の勝利です。名古屋の人達の基本的な体質が、本当に正しかった強かったと自信を持つ。これからも人様に頼らず、自分の力を信じ、必死にものごとに喰らい付き、なり振りかまわず、勤儉誠実な生き方を！

2. 時代変化へ対応を

これからの社会はどうか？モノづくり勝利の延長路線でOKか？

多分そうは行かないだろう。原材料価格の高騰は続く。製品価格・技術価格を上げねば、また新分野を構築せねば企業・社会は衰退します。

引き続き従来通りの汗も必要だが、智慧の部分により比重を増すだろう。智慧の神様を味方に付けた人・会社が勝つ。知識を実践に移し、成果に結びつけること。技術・技能も知識レベルから智慧レベルになると市場に受け入れられ、お金に転化するのです。

3. 市工研・名工振の役割

市工研・名工振は、技術・技能を企業に提供する行政サービス機関である。技術・技能に関する相談・駆込み寺です。

平成 18 年度、市工研・名工振

は新規事業「なごやモノづくりカレッジ」をスタートさせました。中小企業の皆さんの為の施策です。大いに活用して、今こそ中小企業が変革する時です。親会社にぶら下がる下請企業から親会社を支える頼りがいある中小企業に、支えるのが嫌なら本当に自立する中小企業になりましょう。

「なごやモノづくりカレッジ」はそのための人材育成に協力します。目覚めた人材・社員を中小企業事業主が活用するという姿を創りましょう。社員のやりがい、生きがいも必ず生まれます。

4. 中小企業経営者の役割

今までは優秀な社員に助けられ、中小企業は存在していたと考えましょう。今こそ、中小企業経営者は汗は勿論ですが、十倍百倍の智慧と苦難に立ち向かう実行力の発揮の時です。優秀な経営者のもとに優秀な社員が育ち、集まります。経営者の能力・意欲以上の社員は、必ずそこを去ります。だから経営者の職位にある限り前進あるのみです。社会の幸せの為に前進です。

中国を始めとする開発途上国の低賃金との競争は更に続く。この土俵を卒業して新しい土俵を創り、新しい智慧の勝負を世界に向けて展開しましょう。